



2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年1月13日

上場会社名 株式会社歌舞伎座 上場取引所 東
 コード番号 9661 URL <https://www.kabuki-za.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安孫子 正
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岡谷 直人 (TEL) 03-3541-5572
 四半期報告書提出予定日 2022年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第3四半期の連結業績(2021年3月1日～2021年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	1,820	21.1	△65	—	△56	—	△118	—
2021年2月期第3四半期	1,503	△46.6	△325	—	△279	—	△270	—

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 △1,791百万円(—%) 2021年2月期第3四半期 201百万円(△88.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	△9.76	—
2021年2月期第3四半期	△22.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第3四半期	24,740	10,785	43.6
2021年2月期	27,366	12,553	45.9

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 10,785百万円 2021年2月期 12,553百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2022年2月期	—	0.00	—		
2022年2月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,472	17.4	△145	—	△135	—	△200	—	△16.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数（四半期累計）

2022年2月期3Q	12,170,000株	2021年2月期	12,170,000株
2022年2月期3Q	50,087株	2021年2月期	67,187株
2022年2月期3Q	12,118,203株	2021年2月期3Q	12,102,870株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の背景、前提条件等につきましては、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により引き続き厳しい状況が続きました。劇場歌舞伎座においては客席数を半分に制限し、客席やロビーでの飲食禁止等の徹底した感染症防止対策を講じながらの興行が続きました。連結子会社の食堂・飲食事業及び売店事業もかかる制約の下での営業活動となりましたが、売上高はいずれも、3月から7月の興行が休演となった前年同四半期を上回る結果となりました。

このような情勢のもと、当社グループにおきましては、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,820,524千円(前年同四半期比21.1%増)、営業損失は65,277千円(前年同四半期は営業損失325,460千円)、経常損失は56,113千円(前年同四半期は経常損失279,492千円)となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は118,228千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失270,872千円)となりました。

これをセグメント別にみると、不動産賃貸事業については、感染症防止対策により制約を受ける一部の施設や店舗への賃料等の減額が続いたことで売上高は1,413,625千円(前年同四半期比10.6%増)となり、新たな設備投資や機器更新を一部先送りする等によりセグメント利益は511,967千円(前年同四半期比56.7%増)となりました。

食堂・飲食事業については、密集を避けるため飲食施設の席数を約半数にしての営業が続き、ドリンクコーナーでも飲料水、お茶、飴のみの販売が続きました。売上高は107,439千円(前年同四半期比93.1%増)、セグメント損失は112,460千円(前年同四半期はセグメント損失144,645千円)となりました。

売店事業については、地下の木挽町広場で全国各地の「物産展」等の催事を実施したほか、百貨店等での催事にも力を入れ、販路の多様化により業績の回復に注力しました。売上高は299,459千円(前年同四半期比76.4%増)、セグメント損失は83,085千円(前年同四半期はセグメント損失134,248千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,626,103千円減少し24,740,080千円となりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ117,794千円増加し1,538,594千円となりました。主な要因は現金及び預金の増加であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2,743,898千円減少し23,201,486千円となりました。主な要因は、投資有価証券の時価評価による減少2,413,581千円のほか、有形固定資産の取得による増加24,543千円、減価償却等による減少340,636千円であります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ69,081千円増加し742,724千円となりました。主な要因は、未払法人税等、その他(主に未払賞与金)の増加であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ927,244千円減少し13,212,035千円となりました。主な要因は、投資有価証券の時価評価等による繰延税金負債の減少、流動負債に振替えたことによる長期前受金の減少であります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,767,940千円減少し10,785,320千円となりました。主な要因は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金の減少であります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.3%減少し43.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年10月13日に発表した業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,269,995	1,437,025
受取手形及び売掛金	14,357	25,570
たな卸資産	35,356	38,141
その他	101,192	38,088
貸倒引当金	△103	△231
流動資産合計	1,420,799	1,538,594
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,578,076	8,282,027
土地	6,238,098	6,238,098
その他（純額）	123,374	103,331
有形固定資産合計	14,939,549	14,623,456
無形固定資産		
借地権	2,613,299	2,613,299
商標権	16	-
施設利用権	7,548	6,731
ソフトウェア	7,136	5,525
無形固定資産合計	2,628,000	2,625,555
投資その他の資産		
投資有価証券	7,862,696	5,449,114
長期前払費用	427,750	415,971
その他	87,388	87,388
投資その他の資産合計	8,377,834	5,952,474
固定資産合計	25,945,384	23,201,486
資産合計	27,366,184	24,740,080

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	43,216	59,257
未払金	164,580	149,555
未払法人税等	8,654	42,156
前受金	399,529	408,321
賞与引当金	22,159	5,116
その他	35,502	78,315
流動負債合計	673,642	742,724
固定負債		
長期末払金	98,490	98,490
長期前受金	12,028,780	11,809,173
繰延税金負債	1,850,026	1,136,079
退職給付に係る負債	76,419	82,349
長期預り保証金	85,563	85,942
固定負債合計	14,139,280	13,212,035
負債合計	14,812,923	13,954,760
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,365,180	2,365,180
資本剰余金	3,256,671	3,264,975
利益剰余金	3,900,747	3,722,004
自己株式	△298,059	△222,111
株主資本合計	9,224,538	9,130,047
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,328,721	1,655,272
その他の包括利益累計額合計	3,328,721	1,655,272
純資産合計	12,553,260	10,785,320
負債純資産合計	27,366,184	24,740,080

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
売上高	1,503,443	1,820,524
売上原価	1,414,431	1,479,768
売上総利益	89,011	340,756
販売費及び一般管理費		
人件費	273,374	267,119
賞与引当金繰入額	3,285	2,260
退職給付費用	6,243	4,151
租税公課	21,304	24,423
減価償却費	3,525	3,588
その他	106,738	104,491
販売費及び一般管理費合計	414,472	406,033
営業損失(△)	△325,460	△65,277
営業外収益		
受取利息	24	9
受取配当金	16,690	2,316
助成金収入	22,587	6,100
その他	7,433	5,103
営業外収益合計	46,734	13,529
営業外費用		
有形固定資産除却損	-	3,987
その他	766	378
営業外費用合計	766	4,366
経常損失(△)	△279,492	△56,113
特別損失		
有形固定資産除却損	34,535	-
特別損失合計	34,535	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△314,028	△56,113
法人税、住民税及び事業税	1,842	35,877
法人税等調整額	△44,998	26,236
法人税等合計	△43,156	62,114
四半期純損失(△)	△270,872	△118,228
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△270,872	△118,228

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
四半期純損失(△)	△270,872	△118,228
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	471,940	△1,673,449
その他の包括利益合計	471,940	△1,673,449
四半期包括利益	201,067	△1,791,677
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	201,067	△1,791,677

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため東京都に発出された度重なる緊急事態宣言により、当第3四半期連結累計期間も食堂・飲食事業、売店事業において厳しい状況が続きました。9月末に緊急事態宣言は解除されたものの、座席数の制限や営業時間の短縮等は続いており、当社グループの業績に影響を与えております。

前連結会計年度末においては、2022年2月期末までに徐々に経済活動が回復すると仮定しておりましたが、その後の新型コロナウイルス感染症の感染状況及び経済環境への影響を踏まえ、当該感染症による売上高減少等の影響は2022年2月期を通じて一定程度残るものと仮定を変更して、繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損に関する会計上の見積りを行っております。

なお、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産 賃貸事業	食堂・飲食 事業	売店事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,278,065	55,636	169,741	1,503,443	-	1,503,443
セグメント間の内部売上高 又は振替高	70,944	278	1,420	72,644	△72,644	-
計	1,349,010	55,914	171,162	1,576,087	△72,644	1,503,443
セグメント利益又は損失(△)	326,694	△144,645	△134,248	47,800	△373,261	△325,460

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△373,261千円は、セグメント間取引消去△14,890千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△358,371千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産 賃貸事業	食堂・飲食 事業	売店事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,413,625	107,439	299,459	1,820,524	-	1,820,524
セグメント間の内部売上高 又は振替高	71,162	263	5,810	77,236	△77,236	-
計	1,484,788	107,702	305,270	1,897,761	△77,236	1,820,524
セグメント利益又は損失(△)	511,967	△112,460	△83,085	316,420	△381,698	△65,277

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△381,698千円は、セグメント間取引消去△18,733千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△362,964千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。